

進路指導部だより

令和元(2019)年

10月28日(月)

第7号

三戸高校進路指導部

1・2年生へ！時代に、乗り遅れるな！

☆ 時代は、多面的・総合的評価入試が主流となる ☆

- 1 国立大は、推薦・AO入試を入学定員の30%まで拡大する目標を示している。
→ **一般入試の倍率が、例年以上に高くなる。**
- 2 すべての入試方式で、「学力の3要素（新たな時代に必要となる資質・能力）」をより重視する。
→ **学力の3要素とは、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」です。**
- 3 一般入試では「主体性等」の評価が不足しているとして、今まで以上に志願者本人が記載する志望理由書等を活用する学校が増える。
→ **ポートフォリオの活用が広がる。**
- 4 推薦・AO入試では、「共通テスト」等の何らかの学力把握措置が必須となる。
→ **推薦・AO入試受験者にも、共通テスト等での得点力（学力）が求められる。**

参考資料：ベネッセコーポレーション「新入試に向けた理想の進路指導ストーリーを考える会」

1年生は高校生活が半年過ぎたことを、2年生は高校生活が半分終了したことを実感していますか？1年生は、中学生気分が抜けましたか？私が見た限りでは、まだまだのように映ります。2年生は、来年の受験に向けて準備は進んでいますか？私が見た限りでは、まだまだ準備不足のように映ります。1・2年生の皆さんは、新入試制度の下で受験をしていかなければいけません。だから、新入試制度を理解していなければいけません。新入試制度の主な特徴を、上に記載してみました。

新入試制度は、**学力の3要素と志望理由が重視**されます。学力の3要素の中には、英語の資格取得が含まれています。また、積極的に高校生活を送り、将来の目的を具体的に表現できた生徒が高く評価されます。1・2年生の皆さんは、大丈夫でしょうか？「今未来手帳」と「活動記録BOOK」は、丁寧に活用できていますか？専門学校や就職を志望している生徒も、世の中の評価の基準は、これらの指標が軸になってくると思っても良いでしょう。

時代は、常に動いています。何も変わろうとせず生活を惰性で過ごすことは、進路目標を放棄したようなものです。時代は**「自走化（または主体的に行動）」**できる人材を求めています。皆さんの人生のゴールは、ここではないはずです。**必要な情報を収集・分析して、どんどんトライしてください。**

3年生は、進路未決定者を応援してくれ！

3年生の中で、進学先や就職先が決定した生徒がいます。（詳細はまとめて次回に掲載）また、進路が決定していない生徒もいます。進路が決定した生徒は、今後学校生活などで何かあれば、合格（就職は内定）が取り消されます。授業にきちんと集中して、成績を下げずに卒業して下さい。そして、全員の進路が決定するまで協力していく環境づくりを、学年みんなで行って下さい。合格した生徒は、自分が試験を受ける前はとても緊張し、いくら準備しても足りない不安感に襲われていたはずですが、下級生の協力も大事ですが、同時期に入学した同期の励ましが特効薬です。3年生へ、**「One for All. All for One.**」ですよ。